

人気急上昇企画！！ 自治体担当者向け勉強会
『がんばる地域応援プロジェクト』が今年もスタートしました。
(関東運輸局)

～ 持続可能な地域公共交通の構築に向けた取組をサポートしています ～

「超高齢社会」を目前にして、各地域の公共交通はそれぞれに多様で複雑な課題を抱えています。関東運輸局では、各地域の抱える公共交通の課題に対する具体的な解決策を自治体と二人三脚となって模索し、自治体による持続可能で利便性の高い地域公共交通網の構築を後押しするため、2015年度（平成27年度）より「がんばる地域応援プロジェクト」を実施しています。

近年は、乗務員不足や交通事業者の財務状況の逼迫、高齢運転者による事故への対応などが求められる一方、技術革新が大きく進展するなど、地域公共交通は新しい課題への対応も求められています。このような状況を踏まえ、先進的な取組等の情報共有や隣接自治体との連携・ネットワーク構築を目的として、今年度第1回勉強会を令和元年6月21日に実施しました。

当日は、まず、バス待ち環境改善に係る先進的な取組事例として『横浜駅東口バスターミナル』の視察を実施し、横浜市交通局より、デジタル案内表示の導入による待合環境の改修整備について、YCAT（横浜シティ・エア・ターミナル）から空港連絡バスや高速バスの乗り場までの誘導方法等の改善、新たに参入した新高速乗合バスの停留所新設にかかる調整等について説明をして頂きました。参加した自治体の担当者からは、日頃見聞する機会のない大規模バスターミナルの管理運営状況を知ることができて参考になったという意見を頂くなど、一定の成果を得ることができました。



視察（横浜駅東口BT）

また、この視察に引き続き、関東運輸局が入っている合同庁舎までバスや電車などの公共交通機関を利用して各自で移動してもらった上で、座学による勉強会を開催しました。ここでは、地域公共交通活性化再生法の制度概要や網形成計画・再編実施計画の要点等及び道路運送法における乗合事業の制度等についての講義を受けていただきました。



講義風景

さらに、講義後には、希望する自治体の皆様方を対象に、6班（8～9名程度）に分かれてテーマ別ディスカッションを行いました。ディスカッションの中では各自治体が抱えている公共交通の課題や悩みに対して、「うちの市ではこのように対応している」といったアドバイスや先駆的な取組事例の紹介を相互に行って頂きました。限られた時間のなかではありましたが、自治体間で悩みを共有して、他自治体の取組からヒントを得るなど、有意義な意見交換の機会になりました。今後もこのようなプロジェクトを継続して、新たな網形成計画の策定を促進するとともに、公共交通活性化の取組や具体的な再編に向けた取組を推進していきたいと考えております。



意見交換